

# 株式会社城南進学研究社 第41期 報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、当社は第41期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）を終了いたしましたので、その概要についてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたものの、各種施策や行動制限の緩和により、経済活動は緩やかに持ち直す傾向にありましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、エネルギー価格や原材料費の高騰や物価上昇等による消費抑制などにより依然として厳しい状況が続きました。

当業界におきましては、少子化による受験競争の大幅な緩和や学習環境の多様化、オンライン教育に対するニーズの高まりなどへの迅速な対応が求められる中、AI関連の商品やサービスを中心に異業種からの参入もあり、競争が激化しております。

このような状況の中、当社は、2022年に会社設立40周年を迎えたことを機に、新たに経営循環モデル「JOHNNAN SUCCESS LOOP」を策定いたしました。この「JOHNNAN SUCCESS LOOP」は、企業理念である「学びをアップデートせよ」と、経営理念の「生徒第一主義の実践」を通して、「総合教育ソリューション企業として、たくましい知性、しなやかな感性を育む能力開発のLeading Companyとなります」という企業VISIONを達成していくというものでありますが、これをベースに積極的に事業を展開してまいりました。

当期においては、10月1日付で当社の100%子会社である幼少教育事業を展開する株式会社リトルランドを合併、11月には株式会社学研ホールディングスと業務資本提携契約を締結、2023年4月には株式

会社明光ネットワークジャパンと業務提携契約を締結するなど新たな顧客やニーズの獲得に向け取り組んでおります。

幼少教育部門では、算数教室「りんご塾」、保育園を運営している子会社である株式会社城南ナーサリー及び株式会社城南フェアリーの売上増加、育脳教室「くぼたのうけん」や児童英語教室「Zoo-phonics Academy」での安定した売上確保により前期を上回る売上となりました。

デジタル教材・ソリューション部門では、高校等への講師派遣事業の契約増加、オンライン学習教材「デキタス」の自治体・学童保育・スポーツクラブ等との契約増加、さらに1月からヨドバシカメラ限定で販売された「デキタス・バリューバック」の販売が好調となり、多くの個人利用者を獲得するなど、前期を大きく上回る売上となりました。

一方、個別指導部門（個別指導塾「城南コベッツ」）では、受験学年生徒の減少に伴う単価の減少などが売上を押し下げておりますが、教室環境の改善や移転リニューアル、算数特化の小学生向け学習塾「りんご塾」の併設教室を増やすなど新たな顧客の獲得に向けた投資を行いました。

映像授業部門（映像授業教室「河合塾マナビス」）では、新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた学校行事の再開による出席率の低下や、大学入試における推薦入試の伸長の影響により受験学年の退塾が早まったことなどから、前期を下回りました。

スポーツ事業では、子会社である株式会社クケ原スポーツクラブにおいて、年間を通じ安定した会員数・売上を維持しておりましたが、11月に耐震工事のため2週間休館したことによる売り上げの減少を完全に挽回するには至りませんでした。

以上のような事業活動の結果、当期における売上高は5,945百万円、営業損失は32百万円、経常損失は40百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は135百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、何卒より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



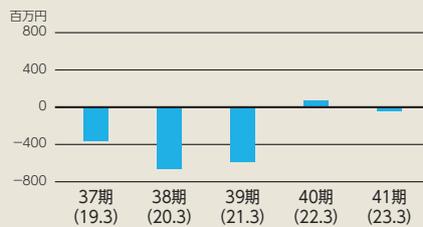
代表取締役社長CEO  
下村 勝己

## Financial Highlights 連結財務ハイライト

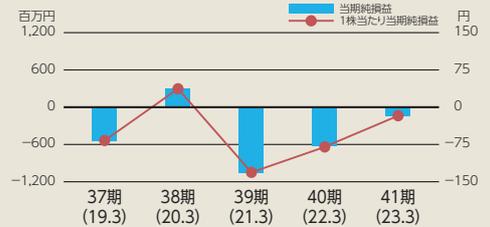
### 売上高



### 経常損失



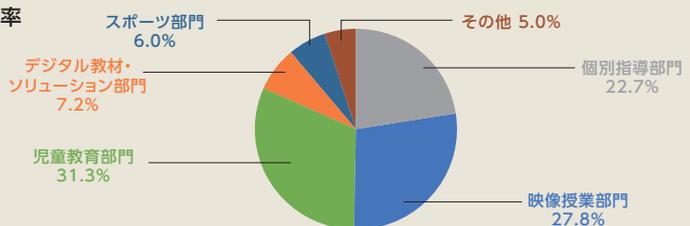
### 当期純損益及び1株当たり当期純損益



### 純資産額及び1株当たり純資産額



### 商品別売上高比率



# 企業ビジョンの実現に向けて

～能力開発のLeading Companyへ～

株式会社城南進学研究社は、1961年4月、大学受験、高校補習のための総合予備校として城南予備校を川崎に設立したところから歴史は始まります。

それから半世紀以上、総合教育ソリューション事業を積極的に展開してまいりました。

さまざまな取り組みの中、私たちは乳幼児期をはじめ、あらゆる世代における「能力開発」が重要であると考え、「脳科学」をベースにブランド展開をしております。

単に成績を上げるための勉強や受験のための勉強にとどまらず、生徒の皆様が一生懸命に学び続ける力を身につけ、そして活躍し続ける人生を送るための教育メソッドを提供し続けることで、当社は総合教育ソリューション企業として、「たくましい知性、しなやかな感性を育む能力開発のLeading Company」となることを目指してまいります。



		乳幼児	小学生	中学生	高校生	高卒生	大学生	社会人
本 社	城南コベッツ		●	●	●	●		
	城南医志塾				●	●		
	城南推薦塾				●			
	くぼたのうけん	●						
	Zoo-phonics Academy	●	●					
	放課後ホームステイ E-CAMP		●					
	城南ルミナ保育園	●						
	りんご塾	●	●					
	デキタス		●	●				
	河合塾マナビス				●			
グ ル ー プ 会 社	株式会社久ヶ原スポーツクラブ	●	●	●	●	●	●	●
	株式会社城南ナーサリー	●						
	株式会社城南フェアリー	●						
	Cheer plus株式会社	●	●					
	株式会社城南KIDS		●					
	株式会社リンゴ・エル・エル・シー				●	●	●	●
	株式会社アイベック			●	●	●	●	●
	株式会社イオマガジン							●

# NEWS&TOPICS

## オンライン学習教材「デキタス」が4月より大幅アップデート！

### 生徒の学習状況を視覚的に把握し、英語検定試験対策も可能に

当社が運営する小中学生対象のオンライン学習教材「デキタス」は、2023年4月1日（土）に大幅アップデートを行いました。管理画面上のデータの視覚化によって生徒の学習状況の把握がしやすくなり、使いやすさが向上。また、「英語検定」科目の追加によって、英語検定試験対策が可能となっております。

「デキタス」は個人会員のほか、小中学校や学習塾など法人会員にも導入しており、教員や講師から、学校全体や教室・個人の学習状況をもっと簡単に把握できるようにしてほしいという要望がありました。それを受け、管理画面上で見られる様々なデータをグラフ化し、視覚的に見やすく改善。教員や講師の使いやすさが向上しました。さらに、通常の「英語」とは別に、英語検定に特化した科目を追加。授業動画や基本問題、チャレンジ問題を新規で作成、小学3年生から外国語活動が「必修」に、5年生から英語が「教科」になるなど英語の重要性が増す中、英語検定を必要とする小中学生のニーズにも応えた形です。



## 株式会社学研ホールディングスと業務資本提携

### 両社の役員・従業員を構成員とする業務提携委員会を設置し、協業についての議論を行っております

両社が事業を展開する学習塾業界は、少子化による学齢人口の伸び悩みを背景として顧客獲得のための価格競争が激化し、企業間競争が熾烈を極めていくことに加え、2020年度から始まった教育改革や入試改革、あるいはコロナ禍を契機に一気に広がったオンライン授業やGIGAスクールの実現など、教育現場は急速に変化をしており、学習塾の役割も大きな変革を求められております。

このような環境下において、当社の各種教育サービスや教育コンテンツと学研HDがもつ全国に展開する教室・塾事業や多様な教育コンテンツとのコラボレーションにより、新たなサービスや商品を開発し、新たなマーケットをつくり出し、塾業界内における優位性を確保できると考え、株式会社学研ホールディングスと中・長期的な業務資本提携に基づいた協働関係を築き上げていくことで合意をいたしました。

**Gakken** × **城南進学研究社**

## 株式会社明光ネットワークジャパンと業務提携

### 2023年4月、株式会社明光ネットワークジャパンと業務提携契約を締結いたしました

株式会社明光ネットワークジャパンは、個別指導のパイオニアである「明光義塾」を中心として学齢人口を対象とした多様な教育ブランドを直営及びフランチャイズ展開しており、その運営ノウハウ、展開ノウハウに高い評価を受けております。

また今後、少子化による学齢人口の減少が加速する将来を見据えて、新たに乳幼児事業を展開することによって、アフタースクール事業、学習塾事業へと繋ぎ、一貫したサービスを提供することが重要戦略になると捉えております。

そこでこのたび、同社の運営ノウハウ、展開ノウハウと、当社の持つ質の高い乳幼児教育ブランド、コンテンツを融合し、新たな生徒の獲得を推進することを目的として、業務提携契約を締結いたしました。

#### ■業務提携の内容

- (1) 乳幼児教育ブランドの相互展開  
(両社による直営展開、フランチャイズ展開)
- (2) その他共同開発及び相互提供



**明光ネットワークジャパン** × **城南進学研究社**

### 主な教場 (2023年3月31日現在)

<b>■ 河合塾 マナビス</b> 東京都 7校舎 神奈川県 5校舎 埼玉県 4校舎 千葉県 3校舎 群馬県 1校舎 新潟県 2校舎	<b>■ 城南医志塾</b> 神奈川県 1校舎 <b>■ くぼたのうけん</b> 東京都 11教室 神奈川県 3教室 千葉県 2教室 茨城県 1教室	<b>■ 放課後ホームステイ E-CAMP</b> 東京都 1教室 埼玉県 1教室 <b>■ サニーキッズ・インターナショナルアカデミー</b> 東京都 1校舎 <b>■ 城南Kids After School</b> 神奈川県 6校舎 <b>■ Zoo-phonics Academy (直営・フランチャイズ)</b> 東京都 6校舎 神奈川県 1校舎 埼玉県 2校舎 千葉県 1校舎	その他 3校舎 <b>■ 久ヶ原スイミングクラブ</b> 東京都 1校舎 <b>■ LINGO L.L.C.</b> 東京都 1校舎 <b>■ 星のおうち 他</b> 東京都 1園 神奈川県 1園 千葉県 6園 <b>■ ふえありい保育園</b> 埼玉県 14園
<b>■ 城南コベッツ (直営・フランチャイズ)</b> 関東 194教室 東北・北海道 4教室 中部 17教室 近畿 10教室 中国 1教室 九州・沖縄 10教室	<b>■ りんご塾</b> 東京都 14教室 神奈川県 10教室 埼玉県 2教室 千葉県 1教室 <b>■ 城南ルミナ保育園</b> 東京都 1園		

※「城南ブレインパーク」は、くぼたのうけん、Zoo-phonics Academy等と重複する場合がありますため、教室数を記載いたしません。

# Corporate Data (2023年3月31日現在)

商号	株式会社城南進学研究社 (JOHNAN ACADEMIC PREPARATORY INSTITUTE, INC.)	役員	代表取締役社長 CEO 下村勝己
設立	昭和57年(1982年)9月16日	専務取締役執行役員 COO 千島克哉	
資本金	655百万円	常務取締役執行役員 CFO 杉山幸広	
従業員数(連結)	393名(講師、契約社員等の臨時雇用者は含みません。)	取締役(常勤監査等委員) 柴田里美	
本社所在地	神奈川県川崎市川崎区駅前本町22番地2	社外取締役(監査等委員) 西村泰夫	
主な事業内容	学習塾、その他各種教室の経営 フランチャイズチェーンシステムによる学習塾等の募集及び経営指導 大学、高校及び中学受験用教材の企画、製作、販売 能力開発、保育に関する事業 スイミングスクール及びスポーツジムの運営	社外取締役(監査等委員) 阿曾友淳	
		執行役員 CBO 飯塚健二	
		執行役員 CAO 服部和佳子	

## Stock Information (2023年3月31日現在)

■発行可能株式総数 33,000,000株  
■発行済株式の総数 8,311,533株(自己株式626,307株を除く)  
■株主数 12,030名

### ■大株主一覧

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
有限会社シモムラ	2,690,000	32.4
下村 勝己	977,000	11.8
株式会社学研ホールディングス	400,000	4.8
下村 友里	379,000	4.6
山崎 杏里	379,000	4.6
深堀 和子	320,000	3.9
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	280,000	3.4
小川 由晃	220,000	2.6
株式会社みずほ銀行	192,000	2.3
株式会社進学会ホールディングス金庫口	133,300	1.6
深堀 雄一郎	120,000	1.4
深堀 泰弘	120,000	1.4

(注) 上記大株主のほか、当社は自己株式626,307株を保有しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当支払株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会の基準日	毎年3月31日 (そのほか臨時に必要あるときは、あらかじめご告知いたします。)
公告方法	電子公告 <a href="https://www.johnan.co.jp/ir/notification.html">https://www.johnan.co.jp/ir/notification.html</a> 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507
電話お問い合わせ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-288-324
単元株式数	100株
証券コード	4720

※株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い  
株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。お届出が済んでいない株主さまは、お取引の証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。

## 第41回定時株主総会決議ご通知

- 報告事項 1. 第41期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業報告及び連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件  
本件は、上記事業報告、連結計算書類の内容及び監査結果の報告をいたしました。
2. 第41期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)計算書類報告の件  
本件は、上記計算書類の内容及び報告をいたしました。

### 決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件  
本件は、原案のとおり承認可決されました。
- 第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)3名選任の件  
本件は、原案のとおり承認可決され、取締役(監査等委員である取締役を除く。)に下村勝己、千島克哉、杉山幸広の3氏が選任され就任いたしました。
- 第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件  
本件は、原案のとおり承認可決され、監査等委員である取締役に柴田里美、西村泰夫、阿曾友淳の3氏が選任され就任いたしました。

以上